

不二製油 サステナブル・オリジン 2021/2022 レポート ハイライト



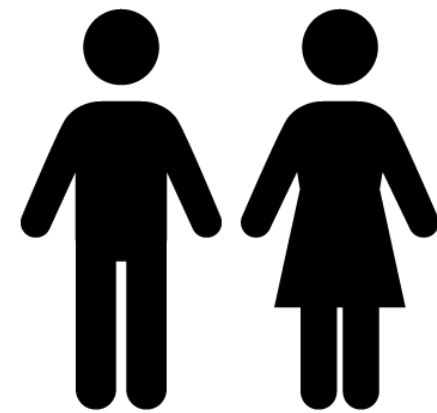
農家からの購入数量
(カカオ豆換算)



1,000MT

※不二製油(株)の購入数量

支援農家数



3,129農家

児童労働
モニタリング数



2,735農家

不二製油の「サステナブル・オリジン」は、不二製油独自の「カカオ豆購入による資金援助」を行う活動です。

基準を満たしたカカオ豆にプレミアム（支援金）をつけて購入することで、生産農家の課題を改善する活動を支援します。



SUSTAINABLE・ORIGINS

課題

- ・小規模農家
- ・所得が低い
- ・児童労働
- ・教育を受ける機会が乏しい
- ・農業技術不足
- ・森林を破壊した農地拡大

手段

- ・CLMRS※による児童労働の監視及び改善
- ・事業後継者への教育及び農業指導と支援
- ・女性の就業支援（収入改善研修）
- ・森林保全教育
- ・監視モニタリング
- ・日よけ樹林の提供

目標

**児童労働を
2030年までに撤廃**

生活環境の向上

森林破壊防止

※CLMRS (Child Labour Monitoring and Remediation System:児童労働監視改善システム)

不二製油 サステナブル・オリジン
2021/2022レポート

プログラムの活動内容と実績

1. 購入している小規模カカオ農家の栽培場所をGPSにより把握する

森林破壊の拡大を抑えるためにはカカオ農家の位置が環境保護エリアとどのような位置関係にあるのか、浸食しているのか、離れているのかを把握する事が重要です。そのための基礎情報として、GPSによるカカオ農家の栽培場所を特定します。



2021/22シーズン	目標	実績
GPSデータ 取得農家	2,350農家	3,129農家

2. 適正な農業生産工程管理の トレーニング・試験農園の設置

より効率的な農業生産の知識・技能の定着のため1対1の指導をベースにした「コーチング」手法を取り入れています。土壌改良、剪定、肥料、収穫保全、農地回復、作物多様化などの農業技術を実地で学べる研修所をコミュニティ毎に設置しています。（1コミュニティ=平均66農家）リーダーとなる農家を選定し5～7年かけて育成しています。





本活動期間中に8つの試験農場が整備され、ここでは除草と枝の剪定の実習が実施されました。これらの実習は通常あまり多く実施されるものではありませんでしたが、今期は降雨量が非常に多かったことから特に有用なものとなりました。試験農場が設立されてすぐに年間を通じて農業に関わるデータの収集が開始されました。

2021/22シーズン	目標	実績
適正農業規範（GAP）の コミュニティ研修所設置	8研修所	8研修所
リーダー農家の選定、 育成の為の調査実施	300リーダー農家	316リーダー農家
支援対象農家への 農機具・種苗用品の供給	8農家	8農家

3. カカオ苗木の配布

苗や農機具・種苗用品も入手しやすいように57名の現地スタッフのネットワークを活用してコミュニティに提供しています。



2021/22シーズン	目標	実績
苗の提供	50,000本	50,000本

4. 児童労働モニタリングと改善システムの導入

コミュニティの農家ごとにインタビューによる調査を行い、児童労働の実態を把握していきます。研修・教育を行い改善を促すとともに、改善活動の成果もモニタリングしています。



①モニタリング数

2021/22シーズン	目標	実績
児童労働モニタリングシステムによる 児童労働の監視	2,350農家	2,735農家



家庭での情報の集め方に関して12名の調査員を対象に2日間のトレーニングを実施しました。彼ら調査員が集めてきたサプライチェーン上の地域における児童労働に係わる情報に基づいて、各地域で実施すべき是正措置の方法が決定されています。

②その中で把握された児童労働の実態

危険労働※1に従事	65農家
軽度の労働※2に従事	463農家
労働に従事してはいないが学校に行っていない児童がいる	64農家

※1 器具を使用する草刈り・剪定、鎌を使った収穫、木を切り倒す、重量物の運搬

※2 草刈り、剪定後に実・ポッドなどを集める、薪集め、大人がポッドを割った後の実の取り出し

調査の中で各農家の児童労働の実態を把握し、必要な対策を議論し改善に取り組んでいます。

③更に、次のような改善活動を行っています

- ・児童保護委員会による調査
- ・学校管理委員会による調査
- ・鞆、文房具、教材などの提供

5. 女性、若年層の就労・生活支援

農業教育訓練、技術研修を通して、コミュニティの若者世代にココア農業に対する前向きな経済的期待感を持ってもらえるように支援しています。若者が将来コミュニティに残り、農業を受け継ぐ素地をすることで、児童労働への抑止にもつながります。また産物多様化による収入改善策として、女性家計従事者および若年層に、野菜園の作り方の研修を行います





2つの地域において、80名の女性と若者たちに対する野菜の農業研修を実施致しました。野菜農場を作り、ピーマン、オクラ、トマトの苗木を合計で20万本配布しました。これらの野菜は研修を受けた人達によって栽培された後に顧客への販売される予定です。

2021/22シーズン	目標	実績
事業後継者の教育と支援	4 農家	8 農家
女性/若年層の就業支援	80名	80名

6. 森林破壊防止活動

森林再生を目的とした日よけ樹木の配布などを行っています。



2021/22シーズン	目標	実績
森林破壊アセスメントとモニタリング	2,350農家	2,350農家
日よけ樹木の配布	6,000本	6,000本

7. サステナブル活動額

2021/2022年度

3,125万円

※その時期の為替レートに基づき、
日本円に換算しております

取り組み項目	カカオ豆あたり (%)
児童労働モニタリングへの取り組み	30
農家へのサステナブル活動額還元	20
管理費（産地活動・指導者人件費および経費）	20
マッピング&トレサビリティシステム導入の取り組み	14
農業技術指導への取り組み	5
森林再生、日陰樹の栽培と配布への取り組み	5
証明書発行	5
女性の生活支援の取り組み	1
計	100

日本の原料メーカーがサステナブル原料の供給に取り組むことで、日本市場に流通するチョコレート製品のサステナビリティの向上、サステナブル消費へのインパクトが拡大することが期待できます。カカオが抱える3つの主要課題（農家の所得の低さ、児童労働、森林破壊）に対し、「農家の生活環境改善」、「児童労働の撤廃」、「森林破壊の防止」として、企業のコミットメントを明確に表明し、年次目標を定めて包括的に取り組んでいることは評価に値します。

真に社会的なインパクトを高めていく上では、実施している活動の結果（アウトプット）に留まらず、成果（アウトカム）を把握し、可視化できることが望ましいです。（例：プログラムにより生活所得を達成したカカオ農家の割合や、特定した児童労働者数（リスクのある子どもも含む）と是正件数、学校の就学率や出席率の変化など。）これは、より幅広い顧客企業を巻き込みながら取り組みを拡大していくうえでも重要です。

今後、不二製油（株）様のグローバルなネットワークや知見を活かしながら、取り組みが継続、拡大し、課題解決のインパクトを生み出していくようなプログラムになっていくことを期待します。

（特定非営利活動法人ACE）